

JB News Letter

No. 27
2025. 8
2025. 9

JB Print Techno

株式会社
ジムブレーション

ジムブレーション編集・発行の情報誌。今ホットな話題やお得な情報をお届けします！



朝夕の風に秋の気配を感じる9月、季節の移ろいを知らせるもののひとつに『秋の七草』があります。春の七草が『七草粥』にして無病息災を願うなど“食べて楽しむもの”であるのに対し、秋の七草は“目で見て楽しむもの”とされ、古来よりその美しさが愛でられてきました。秋の七草は、万葉集の歌人・山上憶良(やまのうえのおくら)が詠んだ歌に由来し、萩(はぎ)・尾花(おばな=すすき)・葛(くず)・撫子(なでしこ)・女郎花(おみなえし)・藤袴(ふじばかま)・桔梗(ききょう)の7つです。萩は『秋の花』の代表格で、尾花は十五夜のお月見に欠かせないすすきです。葛は根から葛粉を取り、葛餅や葛湯として今も親しまれています。撫子は『大和撫子』という言葉の語源でもあります。一方、女郎花や藤袴は野生で見かける機会が少なくなり、桔梗も含め希少な花として保護が進められています。いずれも可憐で上品な姿をもち、古人が歌に詠み込んだ理由も頷けます。秋の七草は一斉に咲くわけではありませんが、9月から順に見頃を迎える花が多くあります。散歩やお出かけの際に出会ったら、ぜひ足を止めて眺めてみてください。春は食、秋は花、季節ごとの七草を通して自然の恵みや移ろいを感じ取れることでしょう。

今日の

今日は何の日? 9/15

関ヶ原合戦の日

関ヶ原町に事務局を置く関ヶ原観光協会が制定。1600年9月15日、岐阜県関ヶ原の地で、徳川家康率いる東軍と石田三成ら西軍が激突。天下分け目と呼ばれるこの戦いは、わずか半日で決着し、東軍が勝利。これにより家康は天下統一の基盤を築き、後の江戸幕府の成立へと繋がった。戦局を左右したのは、小早川秀秋の寝返りなど、武将たちの決断や駆け引きだった。その歴史的意義の大きさから、歴史を振り返り、先人の歩みから学ぶ記念日として広く伝えられている。

JB社員からの便り

本社/岐阜支店を移転し、8月1日より 新社屋での営業を開始いたしました！

この度、事業規模拡大とともに顧客満足度の総量を更に高めるため、令和7年8月1日より新社屋(岐阜市茜部)へ本社/岐阜支店を移転する運びとなりました！

これもひとえに皆様のお力添えのおかげと心よりお礼申し上げます。本社/岐阜支店の移転に伴い、これからも社員一同お客様の期待をJUMPできるよう一層精進してまいります。

今後とも一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



【本社/岐阜支店 新住所】

住所: 〒500-8268 岐阜県岐阜市茜部菱野3-126-1

TEL: 058-273-5566(変更なし)

FAX: 058-273-1564(変更なし)

10月には新社屋での
エリア展示会を企画中です。
続報にご期待ください！



K 社長のつぶやき

第98回『“バイアス”を捨て去る』

新聞に掲載されていた、飲食店を起業した人が3年で廃業を決意した記事の一部です。

「今朝も早くから起きて仕込み、店を開けてお客さんに対応して閉店後は売上精算、明日の仕込みの準備をしたらもう夜10時。3年間頑張りましたが、店は休めないし自分の時間も全く取れません。お客さんに喜んでもらって、独立することで自由も手に入ると思ったんですが…。今は店を営業するのが苦痛なんです…」

これは、飲食店に関わらず起業家がよく陥るパターンで、『美味しい食事を作ること』(Mono)と『カフェを経営すること』(Coto)が全く別物であるということが分かっていない例です。経営を始めた途端に帳簿付け・従業員の雇用・集客など、人に雇われている時は見えなかった未経験の仕事が次々と降ってきます。つまり、専門的能力だけで経営をしようとしても成功はしません。『美味しいランチを作ることができれば、店は成功する』、このバイアスを捨て去ることが成功への一歩になるということを理解しなければいけません。

